

2009年2月4日

各 位



積水化成成品工業株式会社

## 道路地下に雨水貯留浸透槽を構築する「セクスイアクアロード」を上市

### <要約>

積水化成成品工業では、ゲリラ豪雨とも呼ばれる集中豪雨時の道路冠水対策・河川の氾濫対策として、道路の下にも設置可能なプラスチック製の雨水貯留・浸透槽構築部材「セクスイアクアロード」を開発上市しました。本商品は軽量で施工性が良いため、従来工法と比べコストダウン・工期短縮がはかれます。

### 1. 開発の経緯

- 近年、ゲリラ豪雨とも呼ばれる集中豪雨により、道路の冠水や地下空間への雨水の流入による事故が多発しています。
- これらの対策として、道路側溝による排水や下水道に頼らざるを得ませんが、設計の際にはゲリラ豪雨を想定しておらず、排水能力が不足しているのが実状です。また、これまで洪水抑制のための調整池として、公園や学校のグラウンドや駐車場の地下などにプラスチック製の雨水貯留・浸透槽を構築することが行われていますが、都市部に用地を確保することは困難であり、対策が必要な場所から遠くなってしまい、瞬間的な豪雨に対応することが困難な状況でした。
- そこで、ゲリラ豪雨等の対策が必要な場所において、道路の下に雨水貯留・浸透槽を構築できるプラスチック製の部材である「セクスイアクアロード」を開発しました。



セクスイアクアロード

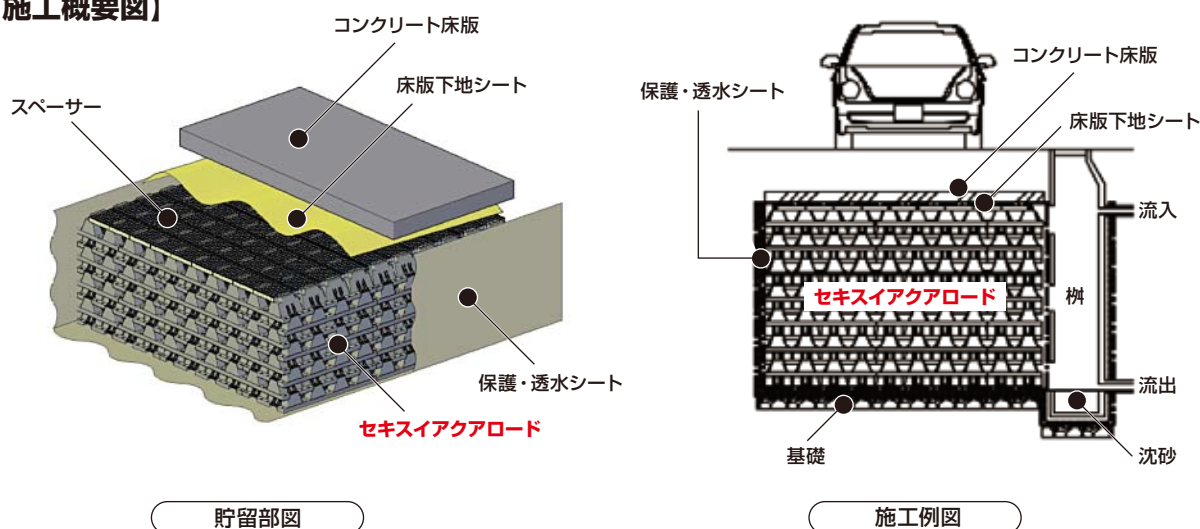


セクスイアクアロード 積層状態

## 2.「セキスイアクアロード」の特長

- ①冠水対策 大型車両を想定したT荷重(245kN)に対応しているため、車道下への設置が可能であり、また道路側溝をあふれる雨水を直接引き込むことにより、その場で冠水対策を行うことができます。
- ②洪水抑制 空隙率が体積あたり92%以上と非常に大きく、瞬間的な雨水を貯留することが可能であり、下水道や河川への流入を抑えます。
- ③雨水利用 内部空間に貯めた雨水を、緑化対策や防火用水などへ利用することができます。
- ④軽量盛土 積み重ねた状態での見かけの単位体積重量が小さいため、軽量盛土としても利用可能であり、また空隙率が大きいので浮力が小さく、地下水位が高いところでも施工できます。
- ⑤施工安定性 単一部材を千鳥に配置しながら積み上げる構造であり、施工性に優れ、全体が一体化することで、水平荷重に強い安定した構造体となります。
- ⑥搬送保管 方向を合わせて積層することで、よりコンパクトにスタッキングできる形状となり、効率よく搬送や保管ができます。

### 【施工概要図】



## 3. 今後の事業展開

今後、需要拡大が見込める分野であり、2009年度は年間1億円の売り上げを目指します。

【お問い合わせ先】(上記写真および図を添付ファイルで配付ご希望の方も下記へどうぞ)

積水化成工業株式会社 総務部 広報担当 小林勝仁

TEL:06-6365-3013 Email:kobaya08@sekisuiplastics.co.jp

以上